

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援センター 育つカ		
○保護者評価実施期間	2025年 2月 1日		2025年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	45	(回答者数) 21
○従業者評価実施期間	2025年 3月 24日		2025年 3月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○訪問先施設評価実施期間	2025年 2月 1日		2025年 2月 28日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	27	(回答者数) 27
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 31日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・非常に高い専門性を有しており、個に対してはもちろん集団に対して全員が利益を受けられる支援や指導が行える点	・メイン事業である児童発達支援において、就学時点を目標とした発達支援プログラムが実装できており、それに沿った支援を行いつつ学校園といった集団での支援内容や方法について両輪で支援できる体制を整備している	・小学校との連携を深め、学齢期中期までに必要な支援を継続できるよう体制を整備している ・地域で有数の発達専門医からの指導を増やし、より深い精緻な発達論及び発達支援論を作成する ・保育課程と発達支援プログラムの融和を検討し、全体的な支援の底上げを図る
2	・他職種連携が、相互補完的に行えている点 ・或いは、単独で他職種部分をカバーできる点	・単独で複数の職種内容に精通するようにし、マルチスペシャリストとして業務遂行ができるように指導を行う ・領域別の専門家を招請する事で、事業所内での学びやプログラム作成・修正を行えるようにしている	・後継を育成する事で、事業や体制の継続性を担保していく ・専門職内でも質の高い人材の更なる招請を検討
3	・地域での法人としての認知度の高さや、一定以上の評価を受けている点	・地域での課題を法人として請け負うことで、法人内外の質の向上を図っていく ・他機関にメリットがある内容を提案、実施する	・単独での実施は困難なため、中身の伴った中長期的の方策を示し、地域全体で良い方向へ向かっていける環境整備に取り組む

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・人材の確保及び育成について	・発達支援というニッチな領域のため、この職域を希望する人材の母数が絶対的に少ない事 ・発達支援の知名度のみが先行しており、実態がよく知られていないために、希望職種として選択肢からこぼれる可能性がある	・間口を広く取るため、保育・教育とのつながりや関連性を活かした人材確保を行う ・上記内容と並行して、保育分野から発達支援領域への移行が行える体制歳暮を行っていく
2	・ニーズに対してのキャパシティ不足	・潜在的需要が予想を超えて高かった ・質の高い実績が、結果的にキャパシティ不足の要因となっている ・人材不足のため、今以上に拡張できない	・マンパワーによる解消は物理的な限界があるため、人材育成や地域の育成を行うことで全体的な質の向上を図っていく、過度な局所的集中を緩和していく
3	・事業内の質の精査が困難な点	・強みと完全に裏表の関係となるが、事業や支援内容を精査できる人材が圧倒的に不足している	・外部から各分野での専門家を招請し、共に事業内容を精査・成熟させていく ・常に外部に対してオープンにする事で透明性を高め、かつ第三者の視点に常時晒されるようにする事で内省機能を働かせる

公表

保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名 児童発達支援センター 育つ力

公表日 日

利用児童数

2025年 3月 31

回収数 21

	チェック項目	はい	いいえ	どちらともいえない	分からない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制	1 プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	18			3		
	2 保育所等訪問支援の目的について説明されていると思いますか。	20		1			
	3 保育所等訪問支援の頻度や時間について、契約時や個人懇談時に説明されていますか。	21					
	4 子どもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思えますか。	17			4		
適切な支援の提供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの発達段階や特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	17			4		
	6 子どものことを十分に理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	20			1		
	7 保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等への支援内容・助言指導内容が盛り込まれていると思いますか。	20			1		
	8 保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には「訪問によって行われるべき支援」として、「お子さんの現在や将来を考えた支援」、「ご家族に向けた支援（助言や相談、懇談会等）」、「学校園への支援」と言った支援内容から、お子さんの支援に必要な項目が適切に選ばれ、その上で具体的な支援内容が決められていると思いますか。	19			2		
	9 保育所等訪問支援計画（個別支援計画）に沿った支援が行われていると思いますか。	18			3		
	10 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	18		1	2		
	11 育つ力での保育所等訪問支援の利用を開始する前に、契約内容、相談内容に沿った目的や支援方法、保護者が負担する利用料等について説明がありましたか。	17	1		3		
保護者への説明等	12 「保育所等訪問支援計画（個別支援計画）」を示しながら、個人懇談にて支援内容の説明がなされましたか。	19			2	まだ個人懇談をしていない為	個人懇談は、年2回以上は必ずありますので、その際に説明させていただきます。また、ご質問や相談等ございましたら、いつでもおっしゃってください。すぐにお受けいたします。
	13 育つ力では、ご家族に対しての定期的な家族支援活動や、ご家族等も参加できる懇談会、情報提供の機会等が行われていますか。	18		1	2		
	14 必要な時に子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていると思いますか。	18	1	1	1		
	15 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていると思いますか。	17	1	3			
	16 育つ力の職員から丁寧に支援をされていると思いますか。	20		1			
	17 子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていると思いますか。	19		1	1		
	18 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための工夫がなされていると思いますか。	19		2			
	19 育つ力では、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	18			3		
	20 保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	18			3		
	21 保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して共有がなされていると思いますか。	17	2	1	1	毎回ではないですが訪問時の子どもの様子を報告していただいています。	なるべく訪問時の様子をお伝える機会を増やすよう改善していきます。
22 定期的に配信アプリ等で、活動概要や行事予定、連絡の取り方等の情報や、支援に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。（※これまで、年度末に評価表の集計結果を毎年公表しています。詳細はホームページ下部をご参照ください。なお、保育所等訪問支援の評価については、今年度より開始となっています。https://oharu.sodatsu-chikara.com/）	18		1	2			
非常時等の対応	23 個人情報の取扱いについて、十分に注意していると分かる説明がありましたか。	17	1	1	2		
	24 育つ力では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	17			4		
	25 育つ力から子どもの安全を確保するための訪問先施設との打ち合わせ等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	18		1	2		
	26 育つ力での保育所等訪問支援に満足していますか。	18	1	2			

満足度	27	<p>その他、上記項目に該当しないご意見やご感想・ご要望があれば、こちらのご意見欄へ記入をお願いいたします。</p>	15	3	2	1	<p>毎月集団での様子も見ていただき、とてもありがたいと思っております。</p> <p>家族だけで子育てをしていると、どうしても煮詰まってしまう事も多かったです。たくさんの方に見守られている安心感が本当にありがたいです。</p> <p>今後ともどうぞよろしくお願い致します。</p> <p>相談できる場があり、有難いです。要望ですが、小学校に上がっても相談できる場を作ってほしいです。</p> <p>特にありません。</p>	<p>非常に温かいお言葉をいただきまして、大変励みとなります。今後とも皆様にとって有益な事業であるよう努めて参ります。</p> <p>小学校就学後の訪問支援の利用希望に関してですが、育つ力に通所していたお子さんを対象に、令和6年度より小学校への訪問支援を開始しております。今後も継続予定ですので、小学校との連携を進めていきたいと思っております。</p>
-----	----	--	----	---	---	---	--	--

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名	公表日	2025年	3月	31日	
児童発達支援センター 育つ力	利用児童数	2025年	3月	31日	回収数 27

チェック項目	はい	いいえ	どちらとも いえない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1 訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	22		5	<ul style="list-style-type: none"> ・色々な場面を想定し、助言や説明をしてくださるので助かっています。 ・児童の特性や声のかけ方など丁寧に教えていただきました。 ・できることから少しずつ取り入れていっています。これからも継続して取り組みたいです。 ・実際に取り入れてみるとスムーズに行動することができた。 ・アドバイスしてくださったやり方を行うと、対象児も次の活動に進むことができた。 ・すぐ具体的に話してくださるため分かりやすいです。しかし、集団の中で取り入れにくい援助も時々あり、難しいことがあります。(2件) ・様子について具体例を示しながら援助の方法を教えていただけるので、分かりやすくイメージしやすかったです。 ・場面や状況での質問をすると、それに合った助言をいただきました。 ・いただいたアドバイスはとても参考になりますが、クラス全体の様子によって、取り入れられる時と取り入れない時があります。 ・場面によってはなかなか実行することができず、もどかしい思いになってしまう事もあります。 ・取り入れやすいものではあるが、毎回同じ内容であるため、もう少し具体的な意見やアドバイスをいただけると良いと感じました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も、なるべく分かりやすく具体的に取り入れやすい方策をお伝えするよう努めます。 ・基本的に訪問先施設は集団で活動しているので、その集団毎に合わせた内容にて提示できますようにいたします。 ただし、クラス運営へ取り入れやすいよう最適化した際に、一般的な話や内容から乖離する場合も生じますので、それとは別に普遍的な内容や情報についても併せてお伝えいたします。 ・同じような支援内容になってしまう場合、効果測定としては適切な方法ではなかったと判断すべきなので、次の手段をお伝えするよういたします。 また、実際にやりにくい、効果が見られないといった場合には遠慮なくご意見がいただけますと、お話を踏まえた上で別案をお伝えしますので、お互いに有益となるよう活用していただけると幸いです。
2 訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	25		2	<ul style="list-style-type: none"> ・「そういう方法もあるのか!」という発見ができるのでありがたいです。 ・色々な実践方法を教えていただきました。 ・支援する際は分かりやすい言葉で伝えてくださるので、理解しやすいです。 ・満足しています。(2件) ・自分自身が知らない知識を教えていただけるので、とても満足しています。 ・自分の中では考えつかなかったアドバイスをいただきました。 ・細かく教えていただけるので助かっています。(2件) ・疑問だったことも納得する事ができています。 ・訪問支援のみでは、あまり知識や技術を感じられませんでした。 	<ul style="list-style-type: none"> ・皆様から良い評価をいただいた事、ありがたく存じます。 発達分野で非常に高い専門性を有するよう務めてきましたが、引き続き理論と実践の両輪を高めていき、有益な事業として持続できるよう精進してまいります。
3 訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	26		1	<ul style="list-style-type: none"> ・1つ1つの質問に丁寧に答えてくださるので、大変助かっています。(2件) ・丁寧に教えていただきました。日々の生活の中で実践しています。 ・対象児以外の子への支援の仕方も教えていただく事も多く、クラスを運営する際に活用させてもらっています。 ・質問に対して回答してください。(3件) ・回答がすぐにもらえなくても、次回までに検討して回答してもらえるので、誠実さが感じられます。(2件) ・私に寄り添いながら、具体的に教えていただいています。また、直ぐに回答できない質問の時でも、数日後に答えてくださります。 ・様々な質問にも分かりやすく回答してもらえた。 ・すべての質問に丁寧に答えていただいています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問時にお受けしたご質問には、解説と方略をセットにして必ずお答えするようしておりますが、その場にて即答できない内容に関しても必ず回答をお返す事と定めております。 何かお聞きになりたい事がございましたら、それに対して有益な物事をお伝えするのが訪問支援事業の役割ですので、どのような事でも遠慮なくお尋ねください。

4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	16		<ul style="list-style-type: none"> ・その児童について、自分で見つけられない課題を発見していただけるので助かります。 ・注意が他へ向きやすい児童への声のかけ方を教えていただき、実践するようにしています。 ・幼児期から対象児を見ている先生のアドバイスはとても参考になりました。 ・今年度だけでなく、前年度・前々年度も1年を通じて課題を解消できていると実感しています。 ・普段は難しかった部分も本人に負担がかからずできたため、軽減されました。 ・支援が必要な子には助言をしてもらった対応をしたが、クラスの状況によってその対応が難しく、子どもにとっての学びの機会を逃してしまっているように感じることもある。 ・訪問支援を通じて、育つ力でのどのように関わっているかを聞くことができ、園でも取り入れて課題が解消できている。 ・助言を取り入れ保育の中で活かしていき、子供の成長へと繋がった。 ・助言していただいた内容を行うと、少しずつ解消されていきました。 ・対象児が通い始めたばかりであるため、困り事が解消されたかどうか分からない。 ・軽減する事もあれば、うまくいかない事もありません。 ・課題が解消される事はあまりなかった。 ・特に変化がなかったため、解消までとはいかなかったです。 	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問支援事業は、利用されるお子さんだけでなく、保護者様や訪問先の先生方にとって有意義であるべき事業ですので、課題や困りごとを解消するのは大きな目的であります。 その要望にお応え出来ていない点に関しては、大変申し訳ございませんでした。今後、アセスメントすべき範囲を拡大し、現状にて実効性の高い提案ができるよう練度を高めてまいります。 ・提案や方略に関しましては、様々な要因を加味し、実施のしやすさや効果が出やすいものをお伝えさせていただいておりますが、思ったような成果が出ない場合もございます。 定期的に訪問させていただいている一面として、その後の効果測定があります。取り組んでみたものの効果が見られない場合は、是非そのことをお伝えください。うまくいかなかった要因を加えた上で、新しい方略を提案させていただきまます。よろしくお願いたします。
5	保育所等訪問支援を利用したことで、子どもに必要な支援や指導が明確になった、あるいは方向性を検討する上で参考になりましたか。	23		<ul style="list-style-type: none"> ・悩んでいる時の決め手となるので、大変助かっています。 ・児童の特性から必要な支援を教えていただきました。今の児童の難しいことが何なのか、明らかになりました。 ・クラスを運営する中で、方向性を決める際に参考にしています。 ・参考になりました。(2件) ・訪問支援がある事で、ちょっとした小さな課題でもどのように支援をしていくと良いか相談ができ、参考になっている。 ・助言を参考にした事で、支援方法を見直す事ができた。 ・困った時に助言していただいた事を実践させてもらっています。 ・様々な気持ちの向け方を教えていただけるので、参考になっています。 ・毎回状況をお伝えするだけのことが多かったため、明確になったとはあまり思いませんでした。 	<ul style="list-style-type: none"> ・皆様が日々のクラス運営にうまく活用されている事が伝わりまして、喜ばしく思います。 訪問支援利用児は集団に所属していますので、利用児だけでなく集団を含めた調整や働きかけも支援に含まれます。個と集団は密接に関連していますので、その観点からのコンサルテーションとしても活用してください。
6	事業所からの支援に満足していますか。	20		<ul style="list-style-type: none"> ・満足しています。いつもありがとうございます。(6件) ・満足しています。同じ先生だけでなく、他の先生達とも話ができる機会が欲しいです。 ・訪問支援以外でも、気軽に話すことができる環境なので、ちょっとした事で質問できて満足している。 ・話をすることが多くありましたが、特に変化が見られなかったため、もう少し具体的に話すことができると良かったです。 	<ul style="list-style-type: none"> ・好評をいただいている部分もあり、胸をなで下ろせた次第です。引き続き励んでいきたいと思えます。 ・連携の在り方については、今後一緒に検討していきたいと思えますのでよろしくお願いたします。
其他のご意見				ご意見を踏まえた対応	
<ul style="list-style-type: none"> ・クラスを運営する点で、クラス運営の方向性を決める保育士が中心に話をさせていただいている事が多いのですが、若手の保育士とも話せる機会があるといいと思うので、訪問支援の受け方を工夫したいと思いました。 ・クラスの子どもと関わっていたため、訪問支援員の方から話を聞くことができませんでした。今後は自ら質問をしたり話を聞いていきたいです。 ・育つ力の他の先生達にも対象児を見ただけの機会があると良いと思いました。(ねらいの設定理由等、お互いに話して共有したいです) 					

・疑問に思うことや困りごと等、一つずつ丁寧に分かりやすく伝えていただけるので保育実践しやすいです。うまくいかなかった際も、次のアドバイスをしてもらえるために勉強になります。

・訪問された時に、場合によっては話をするのが難しい時があるが、話をしている時に対象児が気になる行動を取る事もあり、状況が分かってもらいやすく説明しやすい場合もある。

・日によって、しっかりと話が聞ける時と難しい時があるので、どうしたら良いか？大丈夫かな？と思うことがある。

・訪問支援の時間によっては、タイミングの面で話が難しいことが多々あります。

・保育現場の先生と育つ力の先生達とのミーティングの機会が設けられるといいな、と思うこともあります。

・対象児が多い場合、助言を受ける時間が長くなってしまいうため、人数が多い場合は別日に分けてほしい。

・一人担任であったり乳児組での保育の中では、アドバイスに納得・参考になってもなかなか保育で活かしきれない事はあります。

・質問したいことがたくさんあると長い時間になってしまい、活動が進められない事がありました。

・訪問支援に来ていただく時は、いつも子ども達を見ながら話をしているので、活動時間以外のお昼の時間や自由遊びの時など、落ち着いた状況でゆっくりとお話したり聞いたりしたいと思います。

・訪問支援に来ていただき、子どもが過ごしやすいようなアドバイスや方法を教えていただき良かったです。しかし、時間によって話すことが難しい時があったので、手が空きやすいタイミングでお話できると良いなと思いました。

・課内活動などに合わせて来ていただいているが、担任が話していると子ども達の集中が欠ける事があり、課内活動の先生が大変になってしまう事があった。

・クラス状況や課題によっては、午後の時間を使うのも一つの方法かと思いません。

・活動内容によってはすぐに対応できない事があり、申し訳ないと感じました。

・話を聞く事はできましたが、アドバイスだけでなく再度見ていただいた際に、より具体的に分かりやすく教えていただけると良いと感じました。

・上記に少し書かせていただきましたが、訪問支援を今後実施していくにあたって訪問支援の活用方法について皆さんと検討できれば、と考えています。例えばですが、双方時間に都合が付きやすい時期に集まってお話しする機会を設ける、といった形で、無理がなく継続できる形式で行なえればと考えております。

・また、人材育成といった役割を担うことも可能かと思しますので、改めてご相談させていただきます。

・理想としては、お子さんの支援方針・支援内容といった要素は共有して、一貫性を持った支援を行うことができれば一番望ましいと思います。そのための手段や方略について話し合う機会はぜひ実現したいと思しますので、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

・訪問支援のタイミングについては事前に連絡調整させていただいておりますが、連絡調整に関する伝達等で改善できる点は改善いたします。

・日課の設定上難しい場面があるといった事であれば、可能な限り調整したいと思しますので検討させていただきます。

・訪問支援の性質上、どうしても対象児の現在の様子を観察してからのお話となりますので、その後の時間帯お互いが了承できる時間確保ないしは時間の捻出が可能であれば、個別にでも対応したいと考えております。

(上記設問にて回答した類の内容は、そちらをご参照ください)

公表

事業所における自己評価結果

事業所名 児童発達支援センター 育つ力

公表日 2025年 3月 31日

	チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点
	1 利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	3			
業務改善	2 業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	2	1	下半期は実施できていないため、もう少し頻度を上げたい。	頻度を上げると同時に、児童発達支援事業とのリンクを明確にしていきます。
	3 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4			
	4 従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3			
	5 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	1		25年度実施に向け行政へ依頼を打診済で、実施の予定です。
	6 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3	1	研修の数が少ない。	研修機会を増やすため、25年度より新たに時間と専門医指導日を設定しました。
	適切な支援の提供	7 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	4		
8 保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。		4			
9 保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。		4			
10 保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。		3	1	共有する時間が少ない。	児童発達支援での支援会議の時間を共有して、訪問支援についても同じタイミングで実施を試みてみます。
11 子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。		4			
12 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。		4			
13 保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。		3			
14 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。		2	1	支援前に話し合う時間が上手く確保できていない。	新たに時間を捻出するのは難しいため、日常的にやり取りしている際に、意識的に訪問支援の話題について触れ、双方が自然と関係し合う状態を形成します。
15 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。		3			
16 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。		4			
17 毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。		1	2	一部記録が滞っている時がある。	人員確保や配分等について検討し、過度な負荷を減らしていきます。
18 定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。		4			

関係機関や保護者との連携	19	相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3	1	外部連携を含め、管理者が一括で対応している。	
	20	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4			連携を深めるため、自立支援協議会子ども部会にて部会長を委任、部会メンバーとして全機関が集うよう体制整備を実施中です。
	21	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4			幼保小の連絡協議会に参加するだけでなく、学齢期には訪問支援を利用し、一貫した支援体制を整えた段階です。
	22	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	4		月1回、発達専門医による指導日がある。	研修機会増加のため、専門医による指導日を25年度から月2回に追加しました。訪問支援への同行も新規依頼しました。
	23	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	4		管理者が出席している。	自治体全体が良い方向へ動いていくために、子ども部会長を委任し、事業所への巡回指導を25年度より開始します。
	24	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	2	2	・訪問について保護者と話す時間が確保しづらい。 ・日常で伝える時間が乏しい。	職員間での共有を増やすことで、間接的に共通理解できる頻度を上げていきます。
25	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	1			
保護者等への説明等	26	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3			
	27	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	4			
	28	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4			
	29	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	4			
	30	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	4			
	31	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	2	就学後の保護者に関して、全体で集まってお互いに話ができる談話会を設けている。	
	32	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4			
	33	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	3	1		
	34	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4			
	35	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4			
訪問先施設への説明等	36	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	4			
	37	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	4			
	38	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	2			
	39	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4			

	40	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	4			
非常時等の対応	41	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4		職員間では周知している。	児童発達支援の案内時に訪問支援に関するアナウンスを行うようにします。
	42	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3	1	研修・訓練は行っていない。	訪問支援中での対応について、訪問先施設と確認をしておきます。
	43	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4			
	44	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4			